

浅田レディースクリニックを受診された患者さまへ

当院では下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることに同意されない場合は、当院 WEB サイト「当院における研究活動について」から署名をお願い致します。

研究課題名	GnRH agonist 不応症例の原因と管理 -卵巣刺激開始時の内分泌環境と受精率の関係-
当院研究責任者	浅田 義正
他の研究機関 ・研究責任者	
研究の目的	<p>近年、排卵誘発方法の1つであるアンタゴニスト法が、卵巣過剰刺激症候群（OHSS）予防になり、多くの成熟卵が得られるため、盛んに行われています。</p> <p>この方法では、卵子を最終的に成熟させるときにゴナドトロピン放出ホルモン・アゴニスト（GnRH agonist）製剤を用いますが、極まれに、この製剤が効果的に作用しない場合があります。このような場合には、ヒト絨毛性ゴナドトロピン（HCG）を投与し、緊急で採卵を行うことにより対処できますが、その効果については症例により異なります。そこで、今回は受精現象に着目し、その効果を最大限にする方法を追究します。</p>
研究期間	承認後 ～ <u>2021</u> 年3月31日
研究の方法	<p>■対象となる方 浅田レディースクリニック（勝川・名古屋・品川）にて2013年1月1日～2018年12月31日に体外受精を行った患者さま</p> <p>■利用する試料 無し</p> <p>■利用する情報 診療録、診療記録、検査結果</p>
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-6-17 名古屋ビルディング5階 医療法人浅田レディースクリニック 法人部 担当者：衣川（キヌガワ） TEL：052-551-2251 Email：t_kinugawa@ivf.asada.jp
備考	